

70歳雇用確保に向けた短時間・短日数勤務等の実施 オールジャパンサービス株式会社

会社概要

本社所在地	神奈川県横浜市
設立年	1967年（昭和42年）
事業の種類 具体的事業内容	警備業
従業員数 55歳以上の高年齢者率	156名 79.0%
定年年齢	70歳
継続雇用制度	勤務態度等により選考のうえ75歳まで継続雇用

オールジャパンサービス株式会社は、神奈川県横浜市に本社を構え、港湾関係の警備業務からスタートし、本年には創業45周年を迎えた。現在は主に横浜市内における港湾関係の施設や外国船舶の警備業を基盤に陸上及び海上双方における警備業務を展開している。なお、民間業者による港における船舶の警備業務は一般的にワッチマン業と呼ばれているが、オールジャパンサービス株式会社は京浜港ワッチマン業協同組合の幹事会員でもあり、数多くの船舶関連のイベント等に参加しているが、自社でもドックと言われる船舶の修繕工場や港湾施設の荷役臨時警備等、海に関する警備業務の経験を重ねてきた。警備業界は社員一人一人が顧客からの期待に応えられる経験と厚い人望が要求される業界である。「社員一人一人がセールスパーソン意識を持って業務に当たって欲しい」という社長の考えにより営業専属社員は置いておらず、地元に着し地元で貢献していく企業であり続けるべく日夜努力している。



本社外観

雇用の概況

平成21年6月1日現在の人員構成は次のとおりであり、従業員総数156名のうち、正社員は117名、非正社員（嘱託、パート社員等）は39名である。

合計	44歳以下	45～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
156名	10名	22名	21名	31名	51名	21名
100.0%	6.4%	14.1%	13.5%	19.9%	32.7%	13.5%

既に定年年齢が70歳である外、経験と技能を有する高齢者は貴重な戦力であるとの考えの下高齢者を積極的に採用してきた結果、全従業員のうち、60歳以上が占める割合は66%を超えている。基盤である海上・港湾警備と施設警備に従事する社員数比は半々位である。従業員の募集に当たっては、以前は週末の求人広告チラシを活用したこともあったが、週末のみの求人広告では余り効果が見られなかったため、



就労風景

現在はハローワークへの求人登録のみである。昨秋までは60歳から65、6歳辺りまでの人からの応募が多かったが、昨秋以降は応募者の平均年齢が10歳程度若返った感がある。警備業務は継続して長く勤務してもらう必要があるため、次の勤務先を見付けるまでのアルバイト感覚で応募する者は採用しない一方、他社で定年を迎えた高齢者については、定年前の長い経験を有効活用するため、積極的に採用している。結果として同業他社と比べ、オールジャパンサービス株式会社では全社員に占める正社員の比率が高くなっている。「採用した以上、社員の生活は守る」という社長の考えから、定年年齢である70歳を超えても本人が希望した場合は、勤務態度等を考慮のうえ75歳まで再雇用制度を設けているが再雇用されなかったケースは健康面でやむを得なかった場合を除き、殆ど無い状況である。75歳以降も継続して勤務でき、現在の最高年齢は79歳となっている。

また、障害者雇用についても意欲的に取り組んでいる。今までに地元の特別支援学校卒業生3名を採用しているが、勤務時間や業務量等に充分配慮の上、平均5～6名のチームを組んだ警備業務に当たらせ、業務が円滑に進むよう留意している。フォロー者に高齢者社員が配置されることも多く、商業店舗における来客者や車両に対する声だし・声掛け等、長年の経験を活かした指導が行われている。

制度導入の背景および概要

本人に気力、体力があれば70歳まで働けるという考えの下、社員は原則70歳までフルタイムで同一警備業務に従事しているが、体力的にそれが難しい場合は個別に短時間・短日数勤務を設定している外、配置換えを行うことにより対象者が定年まで継続雇用されるよう図っている。

1. 短時間・短日数勤務

船舶警備や輸出入物の警備等、海上や港湾における警備業務は24時間屋外業務であるため、加齢に伴い肉体的負担が大きくなる。また、施設警備においても巡回業務が負担となる場合がある。このような場合は、例えば夜勤から日勤へシフト変更したり、夜勤であっても日を跨がない様にしたり、週末のみの施設警備業務へ変更したりすることにより体力的な負担の軽減に努めている。短時間・短日

数勤務に係る就業シフトは顧客ごとに異なるが、短時間勤務としては 午前9時から正午まで(午前勤務)、8時から10時まで、17時から19時までの勤務シフトが多く、短日数勤務は週2日(土・日)勤務シフトが多い。

2. 配置換え

上記1.の外、以下の様な配置換えを実施している。なお、配置換えを実施する場合は複数の業務・就労場所を提示し、その中で本人にあったものを選択させるようにしている。

巡回業務から監視業務へ

施設における巡回業務(パトロール)から施設内の監視業務(モニター監視)へ配置換えする。

屋外業務から屋内業務へ

船舶警備の外、埠頭や倉庫における警備業務など屋外業務は悪天候により体力が消耗されることが多いため、屋内業務として施設警備へ配置換えする。

施設警備から機械警備へ

施設に常駐して警備を行う施設警備から、普段は中継基地で待機しており管制センターから異常発生連絡を受けて現場へ向かう機械警備へ配置換えする。

施設警備から管制業務へ

施設に常駐して警備を行う施設警備から、警備対象施設に設置された防犯機器の集中監視を行う管制業務へ配置換えする。

高齢者雇用の実態

既述のとおり、オールジャパンサービス株式会社では既に70歳定年制度を導入済みであり、多くの社員が正社員として70歳までフルタイムで勤務している。しかし、体力的な事情により短時間・短日数勤務を選択する社員もいるが、フルタイム勤務ではないことを理由とした賃金単価は下げていない。70歳定年までは賃金は変わらず、70歳以降の賃金単価は定年前の約9割に設定されている。高齢社員については、体力や注意力が特に必要となる現場へは極力配置しないよう留意している外、交代要員の活用により待機時間や休憩時間を多く取らせるようにしており、現場のチームリーダーには高齢社員の健康状況について随時報告させている。

短時間・短日数勤務や配置換えを選択する社員は65歳以上社員の20%前後であり、陸上業務(施設警備)従事者に多いが、社員の満足度は高く、「仕事の合間に農家の仕事が出来て家族にも喜んでもらっている」「老人クラブ活動、地元のボ



就労風景

ランティア活動などが出来て毎日に充実感がある」「平日の本業が業績不振により収入が減り生活が苦しい中、週末の副業の収入は助かる」「体力が続く限り社会に貢献し続けたい」といった声が上がっている。

今後の課題

オールジャパンサービス株式会社では、意欲と能力のある高齢者を活用する観点から、従来より高齢者を積極的に採用してきたところであるが、同一業務に従事する場合、ベテラン社員と新米社員との間で賃金に余り差が付いていない。現在のところ、社員から特段の不平不満等が出ていないが、最低限のランク付けは必要であると考えている。

また、高齢者雇用に当たっては健康面での気配りが重要である。健康管理については本人のみならず家族の理解も重要であるとの考えより、健康診断結果等については給料袋に同封して注意指導を行っている外、現場サイドでも本人に体調不良等見られる場合は仕事をさせない等、本人、家族、本社、現場それぞれにおいて健康管理問題を常に意識するよう努めている。